

Share The Vision

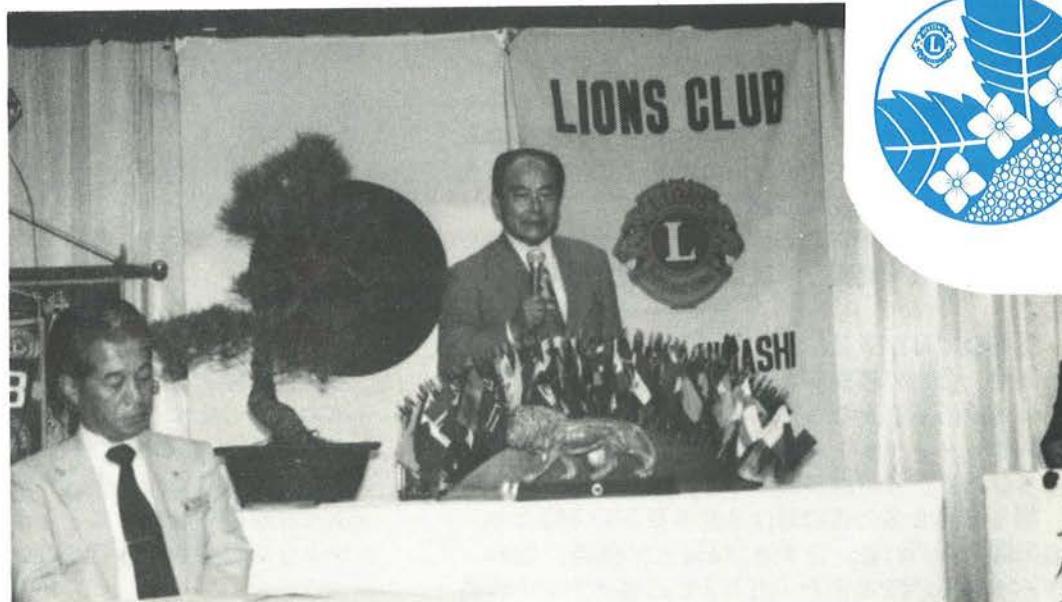
ライオンズクラブ国際協会



333-C 地区ニュース 1982-83 No.3

しあわせ あした
愛の手で幸福の明日を

1982.11.15



会員増強に寄せて

333-C地区ガバナー L 藤田 定男

ガバナー公式訪問に際しましては、各地で皆様に絶大なる歓迎を受け、小生終生忘れ得ぬ感激がありました。私はこの公式訪問を通してライオンズクラブの奥行きの深さ、皆様方のライオンズに対する情熱の強さ、人情の温かさを身につまされて感じましたと同時に、皆様方と共に友情を深める事が出来ました事はガバナー冥利に尽きる幸福感でいっぱいあります。茲に改めて厚く御礼申し上げます。

私はその際皆様方に会員の増強と退会者の防止を懇請致しましたが、折角増強しましても退会者が後を絶たないのも事実であります。唯やみくもに入会を押進めるのではなく、スポンサーもクラブも入会に当りますは、眞にライオンズマンに相応しい人物を厳選する様心掛けて載きたい。先ず金銭に対する執着心の非常に強い人、それからライオンズを自分の商売に利用しようと目論む人、功名心に駆られ自己顕示欲の強い人、理屈ばかりこねて実行力の伴わない人、自我が強く協調心の乏しい人、更に品性の下落した人、更には人を愛するに稀薄な人、こう云うような人達は、会員委員会等で篩にかけて、入会を見合わず様にして下さい。一人の増強よりクラブの和のほうがもっと大切です。このような人達は必ずやクラブ内で問題を起したり、失意のあまり退会を早めるような人達です。そんな人達でなく、善意の、心暖かく、世の為人の為に奉仕したいと願って居る人達は探せば沢山居るはずです。そう云う人達をみんなで手わけて探し出し、我々の同志として温かく迎え、みんなで協力して世の中を明るく、幸福なものにして行こうではありませんか。皆様方の御健勝と御健斗を祈ってやみません。

INTERNATIONAL

LIONS



公式訪問 1R

各地で感銘を与えるガバナー

市川クラブが前年度のキャビネットであったところから、本年度のガバナー公式訪問は9月4日第1R、第1Zより始まる。台風15号の来襲ということで大変心配されたが、幸にも南方にそれカラッとした秋晴れの天候となり、公式訪問は午後6時から西船橋の玉姫殿で行われた。6クラブ、205名が参加し盛会裡に議事も進み、川上 浩市川東クラブ会長の開会挨拶に始まり、各クラブ会長の報告後、藤田ガバナーが熱のこもった挨拶となる。戦後の日本についてのべ、「経済大国になったが、心の病が進んでいる。この改革こそライオンズクラブの使命である」と説明、「平和で美しい日本を子孫にのこそう」と訴えメンバーに深い感銘を与える。

テールツイスター2名がガバナーにお祓いをおこない、今後益々健康で活躍されるよう、お祈りをする。

懇親会では第2Zにくらべ、人員が半数位だったので、会場の移動がスムーズにおこなわれ、和気あいあいの宴会となった。席上印西クラブの10月31日のチャーターナイトのPRがあり、稔り多い懇親をくりひろげ、8時過散会となる。参加者205名。

第1R第2Z公式訪問は9月5日午後5時より、日本閣で行われる。9クラブ434名が会場に溢れ、ガバナーを感激させる、山下ZCの各クラブの特徴



紹介、各会長の報告、藤田ガバナーの熱のこもった挨拶は、全メンバーに深い感銘を与えた。

教育の荒廃が進んで誠に憂うべきであること、そのゆがんだ心を正すのがライオンズの使命であること、愛と心の奉仕にたって日本人の心の改革に力をつくすこと、等々。

また流山ライオンズクラブが野田市にエクステンションをはじめたことは、県内の全市にライオンズクラブがゆきわたることとなるので、このエキステンションは大きな注目をひいている。

PR情報委員 L 伊藤記

公式訪問 6R



9月25日、台風19号の風雨の中、キャビネットを出発した藤田ガバナー一行5名は台風一過おだやかな日射の中、房総の南端館山に入り休憩する間も惜しんでR内役員の先導で過ぐる7月29日愛の献眼をされた館山中央LC初代会長（元DDG）故風間俊雄ライオンの御靈前と墓前に丁重なご焼香しご家族にその崇高な行動と勇気を称え懇にご挨拶され直ちに午後5時よりゾーン内6クラブ三役との指導懇談会が開かれた。キャビネットよりの指導事項、活発な質疑応答があり有意義な懇談会であった。

午後6時より合同例会は飯田ZCの現況報告に始まり、各クラブ会長の報告を藤田ガバナーは熱心に聞きその内容を高く評価、「愛の手で幸の明日を」



のスローガンより、公徳心の向上、青少年の健全育成、日本人としての自覚を根本として、非常に力強く挨拶され会場内の全会員の胸を強く打ち、大いに感動させライオニズムの昂揚を訴えた。

引き続き行われた懇親会は平井DDGの軽妙な挨拶に始まり、和気あいあいの中に藤田ガバナー一行とメンバーが和やかに交流し友情を深め平井DDG提供の素晴らしいユーモアのある景品付の福引大会に打ち興じ、笑いの渦がわき、盛上りを見せ9時過ぎに散会。出席者全員感動と親睦の素晴らしい藤田ガバナーの公式訪問であった。

PR情報委員 L 渡辺忠治 記



DDG シリーズ

6R の運営方針と課題

6R DDG L 平井 勇

グラインドスタッフ国際会長の本年度のテーマは「みんなで分けよう奉仕のこころ」である。これはライオニズムの根幹である奉仕の心を広げて、地域社会はもとより、全世界の人々と共に、その喜びを分ち合おうとの指針である。

又、藤田定男地区ガバナーの本年度のスローガンは「愛の手で幸福の明日を」である。これは愛と協調とを底流とした活発なる奉仕活動を推進して、ライオニズム高揚に努めようとの指示である。

此の御二方の主旨は、近年ともすれば形式のみに流れ、マンネリの兆さえ見え始めたライオニズム活動を強く戒め、原点である「まごころ奉仕」に徹して欲しいとの要請に、他ならないのである。

私は、国際協会々長並びに地区ガバナーの意を体し、その指針指示に基づき、6Rの行政に当るわけであるが

『より良きクラブへ前進』

“明るい運営・意義ある奉仕”

を標榜して職責を果したいと思う。

Rの繁栄ひいては地区の発展は、単一クラブの充実と活躍なくしては到底望むべくも無い。総ての基礎は、クラブの健全さと会員の自覚とによって、決定付けられる。単一クラブにおいての、自主的な全員参加による明るい運営こそが充実の根源であり、知性に基づくまごころ奉仕の展開こそがライオニズム高揚の基盤であると信ずる。単一クラブがそれぞれ『より良きクラブへ前進』し、グッドスタンディングとして団結してこそ、規模の強化が成立し、始めてRの繁栄があり、地区の発展がもたらされるわけである。私は此の信念を持てて、6Rの指導と援助とに打込む存念である。

6Rにおける重点課題として、クラブの強化と規模の充実化の問題及びアクティビティの質的向上の問題を取上げ、研鑽の上実践するように、その主旨と要領とを示して要望した。

1. クラブの強化と規模の充実化

クラブは私共の尊い財産である。伝統と栄光に輝くクラブ活動の歴史は、先輩達の熱意と努力により結晶した珠玉である。これを破損させるわけには断じてゆかぬ。私共は更に磨きをかけて燐然たる光彩を放つように、クラブの強化と充実とを目指して努力を払うべきである。

此のための実践要領

A. 退会防止策を講ずると共に3名以上の新

- 会員増強に努力すること
- B. 2Z内のエキステンション計画を達成せしむること
- C. R内各クラブの連帯強化を促進するための合同例会、研修会、趣味スポーツの会等を開催するので、積極参加のこと

2. アクティビティの質的向上

ライオニズム活動は社会の必然性から生れた意的価値的文化活動である。会員自らの意志と知性とによって判断された意義ある奉仕を行い、相互理解と協調とによって、此の善意の輪を広げて、世界の平和と繁栄に貢献しようとする文化活動である。私共は此の自覚と信念に基づき、より確かな、より手応えのあるアクティビティを展開すべきであると思う。

此の実践要領

- A. 質的向上についての留意点
 - a. 地域社会の必然性に対応すること
 - b. 文化活動なのだから、それなりの意義と価値のあるべきこと
 - c. その場しのぎのもの、単なる思いつきのもの、マンネリ化のものは避けること
- B. アクティビティの対象の選定
 - a. 公徳心の高揚と悪環境の改善に役立つものであること
 - b. 次代を背負う青少年の育成に寄与出来るものであること
 - c. 福祉問題に係わる対応策として価値あるものであること
 - d. 国際関係の融和と協調とに対し意義あるものであること

以上が6Rの運営の方針と課題である。大方の諸賢のご高見、ご教導を頂ければ真に幸甚である。





DDG シリーズ

「YE 派遣受入国、オーストラリア、ニュージーランドに旅して」

9月21日～28日(5泊8日) 短かい期間ではあったが訪問することが出来ました。9月21日午後8時30分、成田空港発カンタス航空22便にて空路オーストラリア、シドニーキングス、フォード、スマス空港へ現地時間午前6時40分(時差1時間)、成田からの航空時間9時間10分、気候は日本の春で桜の花が咲き全ての春の花が咲きだし、花の好きな国民性が街でも村でも花をきれいに咲かして居る点、多くの小鳥の囁りと共に私共旅人の心を慰めてくれる。車中ガイドの説明の中から、オーストラリアは、東西4,000km南北3,200km面積770平方km、日本の面積の21倍人口1,472万人、やや東京都位の人口で6州2特別区からなる連邦国であると。9月24日ニュージーランドへ、シドニー空港午前10時ニュージーランド北島、オークランド空港着午後2時50分(時差2時間)、ニュージーランドは北島と南島に分れ、日本の7割の国土(北海道を除いたくらい)に人口僅か314万人、そのうちポリネシア系のマオリ族は約20万人、マオリとパケハ(白人)はお互いによく協調

5R DDG L 小林力藏

しあって暮しています。農業国なのに人口の4割は、オークランド、ウェリントン、クライストチャーチ、ダニーデンの4大都市に住んでいます。空から見た北島は紺碧の海、緑のジュータンを敷きつめた様な牧草、点々と見える羊の群れ、牛の群れ、広大な地域に過少な人口、恵まれた自然は、両国の人々をおっとりした人柄に育て上げて来たようです。治安も良く、公害のない美しい楽土、清潔な都市、私の目にいたライオンズやロータリーのマークも所々で見ました。交換青少年として選ばれた者が、ライオンズクラブのスポンサーにより招かれて外国を訪問し、指定の家庭に一定期間滞在し、家族の一員として異国の地域社会を観察し、身をもって日常生活を経験しつつ国際感覚を養い、親睦と協調の精神をつかい、智・体・徳の育成こそ、ユースエクスチェンジ(YE)の目的であろう。日本の裏側の両国から、YEの派遣と受入を、暖かく迎え、送ることにとくに協力を望みたい。

委員長シリーズ

リーダーシップとは

私は指導力開発委員長の内命をいただいた時に、これは大変な事になった。自分自身指導力があると思ってもいない者が指導力開発の施策が出来る筈がない、と思いながら居った際に、色々な方より参考書が届けられ、これでは何とか勉強しなければと勇気づけられましたので、これらの資料の1部を抜き出して皆様のご理解をいただければ幸甚と存じます。

指導力(リーダーシップ)とは人の持つ貴重な素質の一種であります。ある人は、この素質を持って生まれ、人によっては多くの経験をへて習得します。ただ、確信をもって自分の進む道を見極めることのできない人は、他人を導くことは出来ません。リーダーとなる第1の条件は、自分の利益を無視して、他人の為に尽せる人であるということです。又人によっては勇気、決断力、説得力、更に謙譲をも条件のうちにに入れます。政治においても事業においてもリーダーシップこそ成功のカギです。ライオンズクラブにおいても同様です。しっかりしたリーダーを有しない会員達は、徐々にクラブに対する関心を失い、その結果、クラブは地域社会の為役立たなくなってしまします。それでは、どうしたら優れたライオンリーダーにな

指導力開発委員長 L 高橋 異

れるでしょう。(1)ライオンリーダーは他の人々が何を必要としているかを見極め、その需要に応ずべき方法を探します。(2)リーダーは着実な目標を立て、会員が目標到達に全力を尽すよう激励します。(3)リーダーは、問題解決に際して、新しい方法をとり入れることを恐れない人です。(4)リーダーは、責任の分担を惜しません。自分一人で何もかもしようとするべきではありません。(5)リーダーは、時間を有効に使います。(6)リーダーは、会員間のいらだち、混乱、不安を緩和します。会員間の意見分裂に際しては、仮令片方が正しいと思われても、反対側を強制的に服従させるより、双方の歩みによる和解こそ解決の道であることを認識しています。(7)リーダーは、同志会員を励まし、個人の業績と地位を尊重します。(8)リーダーは、しっかりした仕事の手順、コミュニケーションのルート、職責の管轄を設立します。(9)リーダーは、対人関係において常に自分の能力向上に努力します。気まずい事態においても常に礼儀を忘れず冷静を保ちます。(10)リーダーは常にグループの意向と方針を尊重します。以上がライオンリーダーの要件といわれて居ります。



Share The Vision Of Service

委員長シリーズ

友情は識ることから — 愉しい名簿づくりのおすすめ —

地区運営特別委員長 L 北村泰彦

- (1) 20年昔、わがホームクラブ会員名簿に初めて会員の趣味の項目を加えたこと(小生クラブ幹事)
- (2) 10年昔、櫻CABの際、地区組織表に初めて顔写真を加えたこと(小生CAB幹事)
- (3)今秋私の所属する職能団体のひとつ(社)日本建築家協会関東支部で、在来名簿の殻を破って、略歴、作品歴、趣味、受賞記録と顔写真を加え、建築家のプロフィールを窺えるものを作ったこと(小生会員部会長)

以上一連の手前味噌は、その時々の役職の立場で実行したもので、これらを貫くひとつの執念があった。組織や集団が、一部の強力なリーダーに頼ることなく、それ自体の体質の向上、意識の昂まりでパワーが引き出されるためには、結局のところ、人と人との多面で円滑な係わりに多くが期待されると言われているからである。

どんなにライオンズに熱心でも、「処であの人は何の職業かしら」ということでは困るのである。当複合地区内某大型クラブ(会員百余名)で、ブザーライオンズのCN参加の折、名刺交換してお互い同じクラブと判ったなど笑えぬ話もある。他クラブの会員同志趣味で親密になるなど誠に嬉しい。ライオンズ

のなかでの同業会、同好会、縁談、など実際に聞いた例もある。

凡そ中年以後の年令になって友情を感じる仲間を得ることは、一般に難しいことと言われるが、ライオンズを友情のレベルに考えられることは最高である。懇意もだし難くしてガバナーを承諾された故式場ライオンは「これ以上固辞することはライオンズの友情をそこなうから…」と言われて決意されたと伺った。

どんなにすばらしいACTをやっても、和やかなクラブ例会で、友情の雰囲気で醸されなくては、所詮ライオンズのものと言いかねない。友情には時間も要る。この辺の事情から“出席”が要ると根拠付けられるのであるが、サポートの手段としての顔写真——顔を合わせたあとで改めて複習し、加えてプロフィールを識れば効能は一段とめざましく、心は更に通い合えよう。どこのクラブ役員も比較的古参が多く、顔写真の必要など感じ方も薄いものであるが、アワードをねらった小刻みACTにうつつを抜かす位なら、じっくりと会員相互の親睦と友情の基礎作りに励む方が、末永いライオンズのために幸せを齎らすことだろう。

愛の手で幸福の明日を

旧満州国の開拓団員として最近引揚の子供同志が船橋市内で結婚式を挙げた。江本秀一君(25)と比田栄子さん(26)は中国で家が隣の幼なじみ、在留日本人という不安定な立場で、文革期には辛いことも経験した。二人は今春婚約したが、困ったことは挙式費用や二人で住む家がなかったこと。秀一さんの会社の上司や同僚が「せっかく日本へ帰ってきたのに社会に溶け込めず追い詰められている帰還者は多い。二人が結ばれ元気に生活してゆけば勇気づけられる人は多いはずだ」と全面協力を約束、社長は自分のマンションを格安で提供する一方、所属している船橋京葉LCに相談し結婚式の衣装代など15万円をカンパした。正面に日の丸と五星红旗が飾られた会場には約20人の帰還者を含め二人の門出を祝った。

戦前に入植した人達の孫がちょうど結婚適齢期に達しているか、ほとんど日本語も出来ず悩んでいる

船橋京葉ライオンズクラブ



ケースが多い。(8月30日付毎日新聞記事抜粋)

船橋京葉LC(鈴木行正会長)のこの善意ある行為は—(愛の手で幸福の明日を)—の堀下げる立派な実践ACTだと思います。



夏 秋 冬 春

ライオンズ80年代の或る視点

333-C地区名誉顧問 L 榎 智光



1. アクティビティーの発想の転換と選択。

ライオン誌日本語版編纂のライオンズの原点の50年の治績、総まくりの中に、青少年交換、公民愛国、厚生、地域改善、少年少女、生活改善、視力保存、教育、農事、国際関係、安全等の項目に亘っている。その実施に当って、地域ぐるみの献血、献腎、献血運動等がヒットしている。その発想選択、実施に当っての工夫などが大切なことである。常に温古知新の謙虚さと、実施に当っての決断が必要であろう。

2. 国防認識の重要性と緊急性を訴える。

我が家を自分で守ると同様に、自らの国を自らの手で守ることは当然のことである。日々の食糧のことから、工業資源に至るまでその大部分を外国からの輸入に頼らなければならぬ、生きてゆけぬ日本にとって、その輸入航路帯を守ることを含めて国防は大切である。最近、ここ2、30年の外交問題を見ていると実に独立国として情ない、唇を噛む恥かしい思いをさせられること屢々である。

毎年の日ソ漁業交渉の情況とその経過を見ていると一方的の仮説の下に立った議論と量の押しつけでしかないように思われてならない。矢張り力の外交である。

300年の厳正中立を誇るスイスがその良い例である。人口1,000万前後の小国であるが、国民皆兵で、国家意識、国防意識が徹底している。国防予算も国家総予算の60%強と高く。吾が國の一部の人達が唱える非武装中立論は甚々現実性のない、身勝手な国民を欺く議論にしか過ぎない。

眞に国を憂うる者は誰か。

我々は、公民愛国の条項をもっと実践に、アクティビティーに生かすべき時が来ていると思われる。

3. 周囲を海に囲まれた日本列島の特殊性。

日本国民が戦後、国家意識の下に国防を真剣に考

えずに済んだのは、日米安保条約の下に米国第七艦隊と核の傘の下に安易にフリーライドして来られたからであった。亦、一方には敗戦のための自信喪失と、戦争体験の過酷、悲惨さからくる嫌悪と逃避でしかなかった。

何年か前に、ソ連が同盟国チェコに大挙進入した事実がある。当時チェコは、ソ連邦の政策に全面的には追従せず独自の方向に進みつつあったと記憶する。ソ連はチェコ国境に数年がかりで軍備を次第に増強し、時機を見て一挙に侵略した。今これに似た様相が、歯舞、色丹、国後、択捉の島々に起りつつあるのである。ここ数年が一番危い。チェコの歴史を辿らせてはならぬ。今年9月下旬に、一休会(第19回年次大会を主催した全国のライオンズ同期生の会)の10周年記念行事としての北海道々東部の視察旅行に参加した際、知床峠の山頂よりこの国後島を遠望し望郷愛惜の念に打たれると共に、一層その感を深くした。

この世代を生きぬくためにも、国民の一人ひとりが確かりした自らの手で自らの国を守る心構え、国防意識を持たねばならぬ。ライオンズの例会毎に歌われる、ライオンズ讃歌(ヒム)、やライオンズの歌が単なるお題目に終らぬようにしたいものである。

今や国防の第一線は、西は韓国の38°線であり、北は北海道東端のオホツク海と太平洋とを結ぶ知床半島、納沙布岬の水路である。敢えて警鐘を乱打する。

最後に、道民の心をうたった森繁久弥氏の詩をご披露する。

國後や択捉の島や我が故郷と
呼べば答える指呼の中
何故に曇るや國後の空
何時か 渡れる その日を思ふ。

(森繁久弥 詩)

~~~~~編集者からひとこと~~~~~

1稿づゝ整理のなかで、この原稿の掲載の是非について苦慮していた。予測通り編集会議では俄然沸騰した。地区ニュースの本質、投稿者の提言目的と自由、編集者の良識と限界、この原稿によって論議された副産物は、素人同志の甘さから脱皮した地区ニュースという厳しい使命に目覚たことは、多いなる所産であった。

編集者からの要請に応え送られて来た原稿であること、元ガバナーという指導的立場にある人の提言

であり、掲載欄が問題提起の論説の場であるということを考慮して、以下この種の例題を引用し結論となる。——幸い日本は言論自由の国、自からの疑問とするところを核心を衝いて、これを公の場で解明を図るという、真理探究の試みは、許されてよいと思う、編集者とすればこれをひとつの問題提起と扱って見たい。波紋の大きさを予測しながら、あえて公開に踏みきる次第。賛否両論の投稿を期待したい。



Share The Vision Of Service

アクティビティス



9月2日 旭LC 小中学校科学工夫展 9月9日



東庄LC 善行児童生徒表彰式



9月16日 銚子LC 特別老人ホーム恵天堂慰問



8月28日 佐原LC YE学生と共に



8月11日 船橋中央LC 海洋少年団全国大会参加



8月18日 総武中央LC 海岸美化奉仕作業



8月8日 多古LC ライオンズ花壇の草取り



8月8日 銚子LC ライオンズ旗争奪剣道大会



アクティビティス



6R DDG L平井マーク入テント 1Z、2Zに各1張づゝ寄贈



8月30日 銚子LC 秋季少年野球大会実施



八千代LC 身障者児童 梨狩に招待



東庄LC 老人ホーム慰問記念樹植樹



Share The Vision Of Service

—レオクラブ長崎水害募金活動—



あの人いってくれるかな。期待と不安の姿。



嬉しいなー、おじぎも上手になって来た。



出陣か？終了か？Vサインがすがすがしいぞ。



女性の方が、愛の手で幸福の明日を知ってるよ。

9月5日に夏期研修会の際、銚子レオより提案のあった長崎水害に対する駅前募金を行いました。場所は市川東レオ銚子レオが千葉駅前、君津レオ富津レオは木更津駅でした。参加者市川東レオ12名銚子レオ13名君津レオ18名富津レオ12名で、各レオ共街頭にての募金は始めての体験なので、最初は、「長崎水害に募金をお願い致します」の声もなかなか出ず照れておりましたが、時間の過ぎるに従ってしっかり出来るようになり、市民の皆様の協力のお陰で短時間ではありましたが、153,370円の募金が集まりま

した。

大勢の人の前で声を出しての体験は始めての事でしたが、良い経験をさせたと思います。

募金はキャビネットを通じて、長崎キャビネットに金一封として使われるのではなく、長崎レオの活動資金として使用して頂きたいとの希望をそえて送金致しました。

お忙しいうちをレオの募金にご協力された、ライオン各位に感謝を申し上げます。

青少年対策副委員長 L松本 新一



しげんめいげん

クラブ会報に想う

I. アメリカのライオンズクラブ会報。

ロスアンジェルス近郊のクラブ会報をみて、先ず感することは、ビジネスライクといいますか、実にすっきり、簡素化されていることです。尚、他のクラブも殆んど同じ形式と聞き及んでいます。

概略を申し上げると、1枚の紙面を使用し

1. 4ツ折にして(約11×18 cm)すぐ郵送出来る形である。
2. 従って4ツ折の一面には、宛名を書いてすぐ投函できる。
3. 他の三面には、役員名簿。

副会長及び所属委員会名簿。

クラブ員名簿と住所。

他役員名簿と所属クラブ。

4. 裏面、主要行事として、例会、理事会、委員会アクティビティ等が実に簡明に記録され、更に主要行事の予定表が約2ヶ月先まで印刷されている。

以上要約すると、

1. 金がかからない。これは英語と日本語の違いもあり、直ちにタイプでうち、コピーできる。
2. 欠席会員には、速やかに郵送される速報性をもっている。
3. 予告性を豊にとりいれ、会員の出席に役立つ。
4. 欠席した会員にも、クラブの活動が一目で判り会員相互のコミュニケーションに役立つ。
5. 年度別に色分けされれば、保存に便利である。

II. 333-C地区のクラブ会報

少し古くて恐縮ですが、前年度ガバナー公式訪問回答書を資料にすると、当時69クラブ

ひひき

「いまだに会員の量か質かの論議が根強くあるが、その論理は虫ずが走るほどいやだ。質を学歴、職歴経歴と考え違いしている人が多いようだが、全く関係ない。一言でいうなら、それこそだわる人ほど質がよくない。ライオンズでいう質とは、あくまでも奉仕の精神があるかないかである」

ニューヨークの中国系のガバナーが「東洋では財産、社会的地位が質を意味しているようだが、アメリカでは現に私がガバナーに推薦されているように、奉仕の真心さえあれば、それが質なんだ」とこのガバナーは語っているが、このガバナーの

市川LC L 渡辺誠之

1. 発行しているクラブ	46C 66.7%
していないクラブ	23C 33.3%
2. 発行しているクラブ中	
定期発行	31C 67.4%
不定期発行	12C 26.1%
不詳	3C 6.5%
3. 定期的発行	31クラブ中
毎月発行	9C 29.0%
隔月発行	9C 29.0%
年3~4回発行	8C 25.8%
年1~2回発行	5C 16.1%
4. 頁数、 頁数記入	41クラブ中
4ページ以下	11C 26.8%
6ページ	13C 31.7%
10ページ以上	17C 41.4%

最少2ページ、最大36ページ、発行回数の少いクラブはページ数も多いようです。

クラブ会報のあり方、目的、編集等は、既にライオン紙でとりあげ、81年7月号から13回に亘り連続で多角的に分析紹介されているので、重複は避けたいが、私見として、クラブ会報は、同一クラブに属しているという会員相互の帰属意識の確認と連帯感の醸成、会員の家族と近い関係者に対する理解の増進、会員の知識、社会的対応力の向上。クラブ活動の将来の指針、理念の追求、地域社会に対するPR。クラブ活動の記録等に意義を見出すものと思う。更に、付け加えるならば、一年交替のライオンズ制度下に於いて、会報は、新役員の指標であり、周年誌の貴重な資料であり、次代に残す遺産であると思う。

職業は運転手であったとのこと。

(1982年3月号ライオン紙)

お国柄の違いとすればそれまでだが、この問題を掘下げ日本のライオンズにあてはめ、質の問題の次元を高めて見たら。(下げるのではない)量と質の問題はより豊になるのではなかろうか。されば金持の寄付団体という尊称?はもういらぬ。この言葉を会員自身が吐いてクラブを皮肉るほど又虫ずの走るほど嫌な言葉はない。自らの冒瀆である。いずれにしても質の問題は、それにはあくまでも我々の抱いている潜在意識と通念を改革し透明にしなくてはならない。



隨 感

船橋中央LC L 田中清衛

私の14年9ヶ月のライオンズ活動の中で一番残念に思って居ることはチャーターメンバー52名が現在12名に減少したことで御座います。新クラブのEXTと会員増強はライオンズクラブ発展の最大目標であることは申す迄もありませんが、退会々員防止運動を推進することを御提案申上げます。会員の増強をしても退会々員が多く出て+/-〇ではどうにもならないと存じます。退会々員防止の方法としては先ず楽しい例会の企画研究と各種委員会の活動を活発にすることにより小グループ会議で親睦を深めそれを例会出席につなぐ様努力をする各種同好会例えばゴルフ同好会。碁将棋・民謡・盆栽・写真・同好会其の他会員の趣味を活用して会員相互の親睦を計ることに依り例会出席率の促進を計る方法等他にも種々

あると思いますが、例会出席率の良い会員が退会することはないが、例会出席率がだんだん悪くなり、やがては退会して行く会員が多いと存じます。次に運営費を節約して事業費即ちACT資金の増加方法を研究する必要を痛感致します。リジョン。ゾーン内各クラブ共ここ数年来特に事業費と運営費のバランスが崩れて来て居ると思いますが、ライオン各位は如何御考えですか。各C共運営費を出来る限り節約の工夫をする時期に来て居る様に思います。アクティビティも受ける側が真から悦び感激する様な、ACTを探求する様心掛けることを痛感致します。

又地域社会への奉仕の原点は物よりも心のかよう奉仕活動が望ましいと存じます。

庖丁は切れるように研ぎたい

6RDDG L 平井 勇

先日知人から大鰯を頂いた。娘は喜んで早速料理に取掛ったのだが、庖丁が良く切れない。大汗をかいて研いだのだが一向に効果がない。何とかして欲しいとのことで、台所に呼ばれた私は、はからずも庖丁の研ぎ方指南をする羽目となった次第である。

庖丁には、その用途による刃のつけ方、角度、方向がある。無暗に力を入れて研いでも、切れるようにはならない。逆に一層切れなくなる場合もある。私はこのことを説明し、先ず庖丁と砥石との角度を合わせ、次に刃並みに添って緩急自在に研ぐように指示したのである。結果は上々、庖丁は素晴らしい切れになり、「流石は物知りね」などと持上げられてしまった。勿論、おいしい鰯料理が出来上がり、心行くまで賞味したことである。

庖丁の研ぎ方なんて常識ではないのかと言われるかも知れないが、存外無頓着で良く判っていない者も多いのである。世の中には理解されているようなことで良く判らぬままに、なほざりにされていることが沢山存在する。だから一生懸命やっても無駄に

なること、いくら努力を払っても効果の上らぬことが多いのである。実質をわきまえず骨を折っても、ポイントが外れているのだから、意味もなく唯くたびれ儲けとなってしまうのである。

ライオンズの奉仕活動も正にその通りではないだろうか。ポイントを外れたACT、心を忘れたACTビジョンのないACTなどは、全然意識がないし永続きもすまい。それにしても、今なお、その場の思いつきのもの、単なる寄付行為に過ぎぬもの、マンネリ化して陳腐なもの等々のACTが、意外に多いことに驚きを覚えるのである。一生懸命に汗して研いで、切れない庖丁にすることはあるまい。切れる庖丁に研ぎ上げることだ。庖丁に刃の角度と方向とがあるように、ACTにも地域社会に対応すべき動向とビジョンがあることを、忘れてはなるまい。ライオニズムは社会の必然性がら生まれた、意的、価値的、文化活動であることを認識して頂き、意義あるACTを実施するよう、留意し努力して行きたいものである。



内局だより

キャビネット内局員として

キャビネット副幹事 L 武内 成浩

この度内局の一員として指名を受け、柄にもなく引受けてしまった私ですが、大好きなライオンズ活動のことであり、自分の持てる力をすべて傾注して行きたいと思っております。

さて藤田ガバナーのもとにスタートしたキャビネットですが、早々と公式訪問が目白押しに計画され予定表を見ただけで気が遠くなるような想いでした。しかし早いものでもう大半を消化し、残るは近くのゾーンと周年行事、結成式チャーターナイトを残すのみとなりました。キャビネット三役は毎週の土日ですが私達幹事、副会計は一週おきのローテーションで同行しますので、比較的容易な状態でした。しかし三役に至っては大変な労力と日程の消化であるため察するにしのびない感があります。その忙しい中で各クラブを訪問し大歓迎を受けることで疲れも忘れクラブメンバーとの歓談の中から各クラブの特性を感じることができます。各リジョンにおかれましてはすばらしいデュピティーガバナーをお選びになり、

そのDDGがガバナーとキャビネットを支えて下さり構員の情熱的な協力を得て一步一步スケジュールを消化しつつあるのです。私達はその皆様のお手伝い役として働かせて頂いております。会員増強、国際協調LCIF、各種会議の設営、全般周年行事等が私の業務ですが、もとより不勉強な私ですから最初から出直してがんばっております。しかしながら持前のファイトで自分の持てる力をこの機会に傾注して精一杯尽くしたいと思っております。私の考えは単一クラブのメンバーがクラブ内での融和を計り、そして隣接クラブの交流を深めて行きゾーンの連帯を高め、リジョンの発展を促すためのお手伝い役として働きたいと思います。そのことがより優れたアクティビティにつながるのではないかでしょうか。押し付けの奉仕ではなく地域社会の人々にはんとうに喜んでもらえ感謝される奉仕こそ何よりも素晴らしいことだらうと思います。金銭にとらわれることなく社会のすみずみまで愛の手をさしのべ共に社会の浄化を考えて行く、それがライオンズに課せられた使命だと思います。ガバナーの考えに共鳴するところがあり、私も微力の一灯でありますが、それを献じて行く所存であります。どうか今後共よろしく御指導下さいますようお願い申し上げます。

お知らせ

国際本部より、本年度(82~83)より毎月提出のマンスリーは一通のみでコピーは送らなくても良い。
 ◎マンスリー記載にあたり、チャリティーバザー、ゴルフ等の参加費、売上金、収益金はそのままACT件数、金額として報告される事がありますが、これらライオンズ内の資金獲得の行事はACT扱いとはなりません。資金を目的先に贈呈された場合についてACTとして報告して下さい。

行 事

- 11月 7日 市川東LC 15周年
- 11月13日 DDG地区委員長会議
- 11月14日 茂原長生LC 15周年
- 11月28日 第二回キャビネット会議
- 12月 4日 新クラブ結成式 SP船橋東LC
- 12月 5日 総武中央LC 15周年

◎ 訂正事項 地区ニュースNo.2の15ページ右上2番目の柏養護学校夏まつりの写真が柏LCとなってしまいますが、柏中央LCの間違いです。

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
 富津LC 故L武次 啓次郎 昭和57年8月7日

編集後記

編集も三回目を迎えて頭初の暗中模索から次第に抜け出して少しあはスムーズにやれるようになりました。今迄殆んど面識のなかった他クラブの人々との心の交流もそれにつれて深まって、編集部ライオンズクラブとでも云う程の素晴らしい友情の中でむしろ楽しく仕事が出来るようになりました。一つの与えられた責任を完遂するために各自の持ち合わせた能力を寄せ合うことこそライオンズの真の姿であるような気がします。ともすると冷めそうになるライオンズへの情熱をかき立てるものはその年度毎に与えられる役の中で自らを燃やすことに他ならないとつくづく感じさせられる昨今です。皆様から送られた原稿を読ませて頂いていると、各Lがその役職の中で真に燃えて居られるお姿を拝見するようで頗もしくも頭の下る思いが致します。その上、文章を書くという事は人前に自分をさらけ出すことで大変な勇気と細かい心配りが必要だと思います。人に読まれてどう思われるだろうとか、言い廻しやらその上美辞麗句まで考えていたのでは一行の文も書けません。その意味でも御投稿頂いた各Lに感謝と敬意を表し、又皆様の御投稿をお待ちして居ります。L森記

発行人

P R 情報委員長：中村清成

P R 情報委員：伊藤健司、木下務、潮田洸、長島彪、佐久間源隆、渡辺忠治、渡辺豊

副委員長：和田孝 編集委員：森秀夫、林英一